

更年期障害!? 腰痛!? 甲状腺の問題にご注意を

女性にとって重要な問題はたくさんありますが、30歳以上の女性には特に注意してもらいたいものの一つに甲状腺の問題があります。甲状腺の機能を判断するのはとても難しく、病院での検査で異常がないと判断されても、実際には甲状腺の症状を呈している場合があります。病気ではないが、機能に問題がある場合には特に症状に悩まされてしまうでしょう。アメリカでは約50%の人達に甲状腺の問題があるとされています。



甲状腺はどれだけ重要な身体の機能に関わっているか、最初に確認してみましょう。

- 骨代謝: 甲状腺の中にある副甲状腺は血中のカルシウム量を常に調節しています。そして、甲状腺はカルシウムの状態に影響を与え、甲状腺の機能が下がってしまうと骨代謝も少なくなってしまう。
- 消化器系への影響: 甲状腺の機能が低下してしまうことで、慢性的に胃の不調を訴えるケースがあります。特に適切に食物を送り出すことができず、また腸内のバクテリアの増殖を引き起こし、炎症が起こりやすくなってしまいます。
- 性欲の低下: 男性では、甲状腺の機能が低下することで性欲が低下してしまい、不妊に関係します。
- 胆嚢と肝臓: 甲状腺の機能が低下してしまうと、胆石ができやすくなり、また肝臓の機能が低下してしまうことでホルモンを吸収することができず、甲状腺のホルモンも合成しづらくなってしまいうため、悪循環に陥ってしまいます。
- 成長ホルモン: 成長ホルモンの放出を促すためにはインスリン様成長因子を放出する必要がありますが、これを放出するためには甲状腺の適切な機能が必要です。甲状腺の機能が低下してしまうことで、結果的に成長ホルモンの合成も低下してしまいます。
- 脂肪の燃焼: 甲状腺の機能が低下してしまうと、全身の代謝が落ち込んでしまい、脂肪の燃焼も非常に悪くなります。
- インスリン&グルコース代謝: 甲状腺の機能が低下してしまうことで、糖類の代謝が抑制されてしまい、脳内へのエネルギー供給が少なくなってしまう。その結果、ぼーっとしたり記憶力の低下などが引き起こされてしまいます。
- コレステロール代謝: 甲状腺の機能によってコレステロールを正しく代謝され、種々のホルモンへと変えられています。甲状腺の機能が低下することでLDLコレステロールの上昇はよく見かける光景です。
- 脳の栄養代謝: 甲状腺とともに副腎の機能が低下してしまうと顕著に表れる状態ですが、抑うつや気分の鬱滞、体重減少などを引き起こしてしまいます。これには脳の化学物質の代謝が関わっています。
- エストロゲン代謝と乳がん: 甲状腺の機能が低下してしまうと、一部のエストロゲン値が上昇し、乳がんを発生しやすくなります。
- 副腎ホルモン代謝: 脳下垂体を介して、副腎ホルモンの代謝に大いに影響し、機能を低下させてしまいます。結果的に気分の鬱滞や憂鬱感を出してしまうことが多くなります。
- 肝臓の解毒: 甲状腺ホルモンは肝臓内での解毒に必要不可欠な要素です。解毒機能が下がることで重金属障害を引き起こしやすくなり、不定愁訴の多くと関連を持つとされています。
- 胃酸の分泌: 甲状腺機能が低下することで、胃酸分泌が減少し、食物を溶かすことが難しくなり、逆流性食道炎と関連します。
 - タンパク質代謝: 胃酸の分泌低下によってタンパク質の吸収が悪くなり、筋がやせ細ってしまったり、ポジティブな考えを持つことが難しくなります。
 - 体温調節とホットフラッシュ: 体温調節が難しくなり、周囲の人とは違う体感気温、そしてホットフラッシュを感じることもあります。
 - プロゲステロン代謝: プロゲステロンの合成が阻害され、月経周期の延長が生じることが多くなります。



その他にもいくつかの問題を生じますが、次回では食べ物の注意点などについて触れていきます。

出典: Why Do I Still Have Thyroid Symptoms? when my lab tests are normal

お知らせ

☆4月19日(日)は診療いたします。4月20日(月)を休診いたします。

☆6月5日~7日まで韓国で学会のため休診いたします。

☆Facebookページやホームページでも情報を掲載いたしております。診療スケジュールなどの確認もこちらからできます。

☆種々の問い合わせ等は Tel.0852-20-2040 よりお願いします。 URL: wakatsuki-chiro.com